

「たびレジ」登録者の皆様へ  
在イスラエル日本国大使館  
2019年10月3日

イスラエル・パレスチナにおける注意喚起, 安全対策 10/3

(ポイント)

● 当地では、9月29日(月)から10月21日(月)までの期間、ユダヤ教関連の複数の祭日が続いています。同期間中は国内の警戒警備が強化されていることから、不測の事態が発生する可能性も考慮した慎重な行動を心がけて願います。

● ヨルダン川西岸地区及びエルサレム旧市街地を含む東エルサレム:

9月26日、エルサレム旧市街の神殿の丘鎖門(Chain gate)付近でパレスチナ人がイスラエル治安当局に刺傷攻撃を試みようとして逮捕されました。

上記以外の地域においても、パレスチナ人とイスラエル治安当局との衝突やナイフ等を使った襲撃事案が主にイスラエルとの境界にあるチェックポイントやイスラエル人入植地付近で発生することがありますので、危険情報に従って慎重な行動を心がけて下さい。特に毎週金曜日午後の礼拝後の時間帯は注意して下さい。場所のいかんを問わず、抗議活動の現場に遭遇した場合には、決して近づかず、直ちに安全な場所に避難して下さい。

● ガザ地区及び同地区周辺: ガザ地区からロケット弾等が同地区周辺等に向け多数発射される事態がこれまで発生しており、特に本年3月、5月には少数ではあるもののテルアビブ近郊等にもロケット弾が着弾し、その後、イスラエル軍とガザ地区双方による激しい攻撃の応酬となりました。

イスラエルとの境界付近では、パレスチナ人による抗議デモや火炎瓶やロケット弾等の飛来が9月以降も散発的に発生し、それらに対しイスラエル軍が反撃する状況がたびたび起こっています。特に毎週金曜日午後の礼拝後の時間帯は、抗議活動等の規模が大きくなる可能性があります。

ガザ地区及び同周辺地域等は危険レベル3(渡航中止勧告)に指定されていますので、同地域には近寄らないで下さい。

● 北部国境: イスラエル北部のレバノンとの国境地帯は危険レベル3(渡航中止勧告)に指定されていますので、同地域には近寄らないで下さい。

● ゴラン高原: イスラエルが実効支配するゴラン高原では、シリア側からミサイルが発射される事案がこれまで発生しています(直近の発射事案は6月3日)。

イスラエルが実効支配する地域を含め、ゴラン高原はシリアの危険情報として危険レベル4（退避勧告）に指定されていますので、同地域には近寄らないでください。

（外務省海外安全ホームページ：イスラエル，ヨルダン川西岸地区及びガザ地区の危険情報）

[https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pchazardspecificinfo\\_2018T099.html#ad-image-0](https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pchazardspecificinfo_2018T099.html#ad-image-0)

## 1 注意事項

既に累次の注意喚起でもお知らせしておりますとおり、当地に渡航・滞在される方は、不測の事態に巻き込まれることのないよう具体的に以下の対応に努めてください。

（1） 最新の関連情報を入手して下さい。

（外務省海外安全ホームページ：イスラエルでの各種安全情報）

[https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsposhazardinfo\\_044.html#ad-image-0](https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsposhazardinfo_044.html#ad-image-0)

（ご参考：主要イスラエルニュースサイト（英語））

<https://www.jpost.com/Israel-News>

<https://www.haaretz.com/israel-news>

<https://www.ynetnews.com/home/0,7340,L-3083,00.html>

<https://www.i24news.tv/en>

（2） 海外安全情報の中の危険情報に従い、レベル3（渡航中止勧告）に指定されている地域への渡航は止めてください。レベル2に指定されている地域には不要不急の渡航は止めてください。レベル1に指定されている地域への渡航は十分注意してください。

（3） 当地ではガザ地区等からのロケット弾等の飛来の可能性があることを常に考慮し、ロケット弾等の飛来を知らせるサイレン等に接した場合には、近隣のシェルター又は堅牢な建物に避難できるよう日頃より心がけて下さい。

（ご参考：イスラエル国民防衛軍ウェブサイト（英語））

<https://www.oref.org.il/11093-en/Pakar.aspx>

<https://www.oref.org.il/894-en/Pakar.aspx>

（4） 衝突や暴力事案が発生する可能性のあるエルサレム旧市街，東エルサレム，ヨルダン川西岸地区内各所に設置のイスラエル軍検問所付近，イスラエル人入植地付近等にはできるだけ近寄らない等，十分注意を払って下さい。

（5） テルアビブ南部の旧中央バスステーション付近は比較的犯罪発生件数が多い場所でもあることから，できるだけ近寄らないよう注意して下さい。

(6) 以下の場所に入入り又は接近、利用する際は、十分注意して行動してください。

政府関連施設（特に軍、警察、治安関係施設）、教会・モスク等宗教関係施設、公共交通機関、観光施設、観光地周辺の道路、記念日・祝祭日等のイベント会場、レストラン、ホテル、ショッピングモール、スーパー・マーケット、ナイトクラブ及び映画館等の不特定多数の人が集まる施設。

(7) 訪問場所及び付近の治安状況を十分確認の上、状況次第では予定している行動を変更（中止）することも考慮し、万が一、抗議活動の現場に遭遇した場合には、決して近づかず、直ちに安全な場所に退避して下さい。

(8) 行動にあたっては、「巻き込まれ」の危険性に十分注意を払うとともに、海外安全情報（外務省海外安全ホームページ）の確認、当地報道及び在イスラエル日本国大使館ホームページ等から、最新の治安情報の入手に心がけて下さい。

(9) イスラエル北部地域のガリラヤ湖近辺では、昨年7月にマグニチュード3程度の地震が複数回発生しました。最近発生した地震による人的被害の発生は確認されておりませんが、当地の建造物、特に1980年より前に建てられている建造物については、耐震構造上脆弱なものが多く、イスラエル北部地域では既にいくつかの建造物内にひび割れ等の症状が発生していると報じられていますところ、ご注意ください。以下のサイトには、地震発生の対処方法等の情報が掲載されておりますので、参考にして下さい。

（ご参考：イスラエル国民防衛軍ウェブサイト（英語））

<http://www.oref.org.il/894-en/Pakar.aspx>

(10) 当地での降雨は短時間に激しい雨となることがあり、場所により洪水となる地域もあります。特に南部の砂漠地帯では突発的な洪水（鉄砲水）が発生する場合がありますので、訪問先の天候には十分な注意が必要です。

## 2 問い合わせ先

在イスラエル日本国大使館

Tel: +972-(0)3-6957292

Fax: +972-(0)3-6960340

Eメール: [ryouji@tl.mofa.go.jp](mailto:ryouji@tl.mofa.go.jp)

大使館HP: [https://www.israel.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.israel.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)

在留届電子登録・変更（3か月以上の滞在）:

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>

たびレジ登録・変更（3か月未満の渡航）:

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>